

経済の動き*

【全体感】

東北地域の景気は、引き続き厳しい状態にあるが、基調としては持ち直している。もともと、足もとはサービス消費を中心に新型コロナウイルス感染症再拡大の影響の強まりを指摘する声が聞かれている。

最終需要の動向をみると、公共投資は、緩やかに増加している。設備投資は、一部の業種に弱さがみられるものの、持ち直しつつある。個人消費は、持ち直しの動きが一服している。住宅投資は、減少している。この間、生産は、増加傾向にある。雇用・所得環境をみると、弱い動きが続いている。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を下回っている。

【各論】

1. 需要項目別動向

公共投資は、震災復旧・復興関連工事を中心に、緩やかに増加している。

設備投資は、一部の業種に弱さがみられるものの、持ち直しつつある。

3月短観（東北地区）における2021年度の設備投資をみると、非製造業の一部では案件一巡から減少計画となっている。しかし、製造業を中心に2020年度に計画されていた投資の後ずれや新型コロナウイルス感染症の影響で先送りされた案件の再開に加え、将来の需要増加を見込んだ能力増強投資がみられることから、全体では増加する計画となっている。

個人消費については、財消費が総じてみれば堅調である一方、サービス消費は引き続き厳しい状態にあり、持ち直しの動きが一服している。

主要小売業販売額をみると、百貨店やコンビニエンスストアが減少している一方、スーパーやドラッグストア、ホームセンターは堅調に推移している。耐久消費財については、家電販売額が増加しているほか、乗用車新車登録台数は、一部に供給制約の影響がみられるものの、新型車投入効果などから持ち直し基調にある。

この間、サービス消費は、飲食・宿泊を中心に引き続き厳しい状態にあり、足もとは新型コロナウイルス感染症の影響の強まりを指摘する声が聞かれている。

* 直近の金融経済統計および企業ヒアリングをもとに、東北地区6県（青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島）の金融経済情勢を取り纏め。

▼日本銀行仙台支店HPへのアクセス

当店HPでは「経済の動き」を始め、東北経済に関する様々な情報を掲載しております。是非ご覧ください。



住宅投資は、貸家を中心に減少している。

2. 生産

生産（鉱工業生産）は、増加傾向にある。

主要業種別にみると、生産用機械等は増加している。電子部品・デバイスも、車載・スマホ向けを中心に緩やかに増加している。輸送機械は、新型車の販売好調などを受けて底堅く推移している。この間、食料品は、低調な動きとなっている。

3. 雇用・所得

雇用・所得環境をみると、弱い動きが続いている。

労働需給は、求人、求職とも弱めの動きとなっている。また、雇用者所得は、前年比マイナスが続いている。

4. 物価

消費者物価（除く生鮮食品）は、エネルギー価格の下落などから、前年を下回っている。

5. 企業倒産

企業倒産は、低水準で推移している。

6. 金融情勢

預金動向をみると、個人・法人を中心に全体では前年を上回っている。

貸出動向をみると、個人向け、法人向けの増加を背景に全体でも前年を上回っている。この間、貸出金利は、緩やかながらも低下している。

以 上

本件に関する問い合わせ先 日本銀行仙台支店営業課 TEL：022-214-3120
